

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの意義を理解し、地域生活の維持を念頭においた上で、事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者は、見やすい場所に理念を掲示し、理念の実践に向けて定期的に職員と共に唱和する時間を設けたり、レポートを書いたり日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の一員としての自覚をしっかりと持ち、地域で行われる行事に参加したり、地元の人々が事業所で行う行事（納涼祭、クリスマス会等）への参加をされたりと積極的に交流することに努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、職員が、サービス評価の意義を理解し、評価を生かして前向きに取り組んでいる。		

宮崎県国富町 グループホームサンメリー

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、区長、民生委員、家族、管理者、職員が参加して、国富町認知症対応型共同生活介護連絡協議会の前の時間帯を使って年4回と事業所で年2回、合計6回を開催し、意見交換や親睦を図るよう努めている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	日ごろから不明な点等、電話で相談したり、交流会に参加したり、事業所の行事への参加を呼びかけたりと積極的に行き来する機会を作る等質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月1回家族便りにて現在の暮らしぶり等の報告がなされている。来訪時には、暮らしぶりを写真やビデオにて報告している。金銭管理も定期的に報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置したり、来訪時に意見等を積極的に聞くように努め、その都度対応している。また、契約書の中で外部への苦情申し立て先を記してあり、意見や苦情等を前向きに受け止めて生かすように努めている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営者は、利用者がなじみの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は、職員が法人内外の研修会に積極的に参加できるように努めている。救急法や接遇研修も定期的に学ぶ機会を設けている。また、人材育成委員会があり、月に1回優れた功績の職員を積極的に表彰する等、やりがいを持てる職場作りに取り組んでいる。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	国富町内のグループホームで連絡協議会を設置しており、役割は1年交替となっている。各地区の区長や民生委員、家族の代表、行政、地域包括支援センターが集まり情報交換を行っている。町民への認知症セミナーの企画なども行われている。		
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用前に、面接、見学をして他利用者とお茶を飲んだり等の交流を図り、場の雰囲気に徐々に馴染めるように家族等と相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日ごろから、利用者一人ひとりを敬う関係を構築し、一緒に過ごしながら昔の知恵やことわざの意味、昔の歌を教わったりと、支えあう関係がみられる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の暮らしの中で、アンケートを取ったり、一人ひとりの思いや希望等の把握に努め、実践するように努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	現状の把握をして、本人、家族、職員間で十分に話し合い、介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月1回モニタリングを行い、状況変化時も見直しを行い、対応している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて柔軟な支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族等の希望を尊重した対応をしている。基本的には、家族同伴の通院となるが、緊急時は、掛かりつけ医と連携し職員が代行して受診できるよう支援している。今年度は3月に健診予定である。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期ケアについて、本人、家族との話し合いを入居時から随時行い、掛かりつけ医との協議の下、事業所が対応し得る最大のケアについての説明を行っている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	接遇の研修にも力を入れており、一人ひとりの尊厳を重視した対応を心がけている。できる限りトイレで排泄できるように支援されている。入浴も少人数で入るように配慮されている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者本人のペースを大切に、職員の都合に合わせるのではなく、選択肢を与えながらできる限り希望に沿って支援するように努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	テーブルには温かみのあるテーブルクロスが掛けられ、季節の花々がさり気なく飾られている。朝食、夕食は隣接する法人で作られた物を盛り付けるが、昼食は、事業所内で利用者と職員と一緒に作り、同じテーブルで家庭的な雰囲気でも和やかに食されている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、少人数で入浴を楽しめるように支援している	毎日入浴を行っている。希望があれば夜間入浴も可能である。一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、少人数で入浴を楽しめるように支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を生かして家事手伝い(洗濯物干し、たたみ、茶わん洗い、台ふき、野菜切り、ご飯の準備、室内掃除等)を行っている。毎月1回生け花教室を開催して、自室やリビング等に飾っている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	暖かい季節は、戸外へ散歩したり、必要に応じて日用品の買い物へ出かけている。その他に毎月1回野外レクリエーションとして、全員参加で外出して初詣や外食等楽しめるように支援している。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、玄関や居室に限らず全て開放されている。戸外を散歩する利用者を、隣接する法人職員や地域住民と共に連携を取りながら見守っている。		

宮崎県国富町 グループホームサンメリー

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	総合避難訓練を地元消防団、役場、区長、民生委員も参加して年2回実施している。その他にも事業所独自に毎月1回は訓練を実施している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士が献立メニューを作成し、栄養バランスを考えた食事が提供されている。水分は、食事時以外にも、夜間自室で自由に飲めるように配慮されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂に隣接する和室には、掘りごたつが置かれ、季節感を感じる置物が飾られている。清掃も玄関、トイレ、居室等隅々まで徹底されており、気になる臭いもなく心地よく過ごせる空間作りがなされている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、本人が生け花教室で生けた花が飾られていたり、好きな絵が貼られていたり、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。		

※  は、重点項目。